


# 古屋 弘

ふるや ひろし / Furuya Hiroshi

<p>所属・役職</p>	<p>(株)大林組技術研究所 上級主席技師 buildingSMART JAPAN 理事</p>	
<p>活動拠点</p>	<p>東京都（本社および技術研究所）</p>	
<p>略歴</p>	<p>1983年 (株)大林組入社。 2010年 (株)大林組技術研究所勤務。 0000年 熊本大学客員教授就任。 0000年 ISARC ボードメンバー就任。 0000年 (公社)地盤工学会副会長就任。</p>	
<p>こんなことを相談できます</p>	<p><b>①建設分野の ICT・DX 活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設分野における ICT 活用・建設ロボット（遠隔操縦／無人化／自律運転）に関する相談。</li> <li>・GNSS を活用した施工管理システム・品質管理の高度化についての助言。</li> <li>・5G・ネットワークインフラを活用した建設現場の遠隔管理に関する相談。</li> </ul> <p><b>②防災・スマートシティ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ハザード情報のデジタル化・オープンデータ活用に関する助言。</li> <li>・スマートシティ・AI 活用・地域情報化計画策定への支援。</li> </ul>	
<p>自治体向けメッセージ</p>	<p>単純なコンパクトシティの推進には反対です。少子化・高齢化に向けた社会インフラの見直しは必須ですが、くらしやすさを基本として、それを実現するための ICT 導入をまず考える必要があります。</p>	

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

災

防災

OD

オープンデータ

ス

スマートシティ

<地域情報化に関する実績>

1983年 (株)大林組入社。地盤関連技術支援・現場(地下鉄)を経て、

1997年～ 本社土木技術本部勤務(GNSS・データベースを用いた施工管理システム開発等)。

2010年～ 技術研究所勤務。3Dプロダクトモデル活用・建設ロボット・ICT活用と現場実装に関する研究開発に従事。

2017年～ 5G実証実験に参加し重機の遠隔操縦の高度化を実現。

技術士(建設部門)、工学博士。熊本大学客員教授、ISARCボードメンバー。前(公社)地盤工学会副会長。国土技術開発賞優秀賞(2001年)、ダム工学会技術開発賞(2009・2015年)、土木学会技術開発賞(2018年)等受賞